

## 1. 自己評価及び外部評価結果

作成日 平成24年12月30日

## 【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	4691200275
法人名	株式会社 ケイシン
事業所名	グループホーム こくぶ太陽の家
所在地	鹿児島県霧島市国分中央一丁目24番地24号 (電話) 0995-48-7320
自己評価作成日	平成24年12月7日

※事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度のホームページで閲覧してください。

基本情報リンク先URL	<a href="http://www.kaigokouhyou.jp/kaigosip/Top.do?PCD=46">http://www.kaigokouhyou.jp/kaigosip/Top.do?PCD=46</a>
-------------	---

## 【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	NPO法人自立支援センターかごしま 福祉サービス評価機構
所在地	鹿児島県鹿児島市星ヶ峯四丁目2番6号
訪問調査日	平成24年12月20日

## 【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

入居者様には、まずは傾聴にて寄り添い、不安の無い生活を送って頂くことに職員一同努めます。

今回取得した地域密着ケアサポートワーカーを生かし、地域の方々が喜んで来て頂き、交流がもてるものを企画し行っていこうと思います。

・事業所全体の理念を具体化しホーム独自の理念を作成している。職員は理念を共有して利用者の立場でサービスを提供できるように努めている。

・年2回の家族会は、ホームの行事に併せて開催するなどの工夫をして、全入居者の家族が参加しての和やかな会議である。ホームと家族・利用者との信頼関係が築かれている。

・ホームは、市の地域密着ケアサポートワーカーを取得し、小学校の「子ども110番」の指定を受けて活動している。また、老人会や婦人会との交流を通じて、ホームの相談役になってもらったり、ホームも自治会の班長として活躍するなど、地域とのつながりを大事にしている。

・敷地内に障害者児童デイサービスが新設され、児童との交流があり、楽しいひとときを過ごしている。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>I. 理念に基づく運営</b>					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員はその理念を共有して実践につなげている	自施設独自の理念を掲げ職員一同共有し、実践出来る様に努力している。	理念は、事業所内に掲示し、事業所全体の理念を具体化した、ホーム独自の理念を作成している。毎月のミーティング等で理念について確認し、職員はよりよいサービスが提供できるように努めている。	
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	今年度は班長を自ら願い出て地域の方々との交流に努めている。	ホームの行事に地域住民が参加したり、野菜等の差し入れなどがある。小学校の「子ども110番」の指定や運動会の見学、老人会や婦人会との交流もある。自治会に加入し班長として地域に貢献している。	
3		○事業所の力を生かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて生かしている。	今年初めての霧島市ケアサポートワーカーの研修を受け、今後地域の相談窓口の看板を掲げる事となる。	/	
4	3	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	会議では現状、行事活動等ホーム便り他を用いて報告。出席者の方々からの地域の情報等も聞かれ、今後もう少し輪を広げる努力を行っている。	家族や自治会長・老人会長・市担当者・地域包括支援センター職員等が出席している。派出所にも参加を依頼している。活動内容等を説明したり、外部評価の結果についても報告し、意見交換を行っている。その中で隣接の民家を活用して児童デイサービスの開設に繋がった。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
5	4	<p>○市町村との連携</p> <p>市町村担当者と日頃から連携を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる。</p>	<p>隣接に障害児の児童デーが出来た事もあり行政からの色々な取り組みについて、こちらから出向くことは勿論の事、行政からの来訪にての意見も頂いている</p>	<p>運営推進会議に市担当者や地域包括支援センター職員が出席している。必要に応じて担当課への相談や情報交換を行い、日頃から協力関係を築くように取り組んでいる。</p>	
6	5	<p>○身体拘束をしないケアの実践</p> <p>代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる。</p>	<p>暴言、暴力への対応又車椅子にての座位が難しい方についてはその都度職員間で話し合いを行っている</p>	<p>入居時に身体拘束をしないケアの基本方針を説明し、毎月の身体拘束廃止委員会で話し合っている。日中の玄関の施錠はせずに、チャイムやセンサー等の工夫をして、職員の見守りや連携で自由な生活の支援を行っている。</p>	
7		<p>○虐待の防止の徹底</p> <p>管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている</p>	<p>言葉使いに注意をはらいミーティング等にて話し合いをもち、個々の研修にても学んでいる</p>		
8		<p>○権利擁護に関する制度の理解と活用</p> <p>管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している。</p>	<p>成年後見人制度を利用されている方が2名入所されている事にて学びを受ける機会を得ている</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
9		<p>○契約に関する説明と納得</p> <p>契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている。</p>	<p>契約時に契約書に目通し頂き乍読み上げ疑問等の質問に答え納得頂き署名を頂いている。</p>		
10	6	<p>○運営に関する利用者、家族等意見の反映</p> <p>利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている。</p>	<p>面会、受診時等訪問の際必ずご家族とお話しをさせて頂き、その中でのご意見、要望は運営に反映させている。</p>	<p>利用者からは、日頃の支援の中で思いを受け止めている。家族からは、家族会や面会時を活用し、要望等を聞いている。意見等に対しては、職員全体で話し合い解決できるように努めており、必要に応じて運営推進会議に報告し、運営に反映している。</p>	
11	7	<p>○運営に関する職員意見の反映</p> <p>代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている。</p>	<p>職員からの意見又提案はミーティングで直接又管理者会議で代表者が聞くようにしている。</p>	<p>管理者は、毎月のミーティング等の会議や日常的に職員からの運営に関する意見や要望等を聞き、コミュニケーションをとるように心がけている。意見や要望等については、理事長や責任者に相談し、勤務条件等の希望についても配慮し、運営に反映している。</p>	
12		<p>○就業環境の整備</p> <p>代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている。</p>	<p>2.5人体制から3人体制になり進んではいるものの管理者会議にてまだ何かと話し合いが続いている状態である。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
13		<p>○職員を育てる取り組み</p> <p>代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている</p>	<p>個々の職員に合った研修に参加するようにしている 職員一人ひとりの力量も把握できている</p>		
14		<p>○同業者との交流を通じた向上</p> <p>代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている</p>	<p>・霧島市の連絡協議会は、ネットワークも良く勉強会も多い為、同業者との交流も多く情報交換も行えておりサービスの向上に繋がっている</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>II.安心と信頼に向けた関係づくりと支援</b>					
15		<p>○初期に築く本人との信頼関係</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている</p>	<p>・本人の要望など話し易い雰囲気をつくり、傾聴し、安心感を確保出来る様努めている</p>		
16		<p>○初期に築く家族等との信頼関係</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている</p>	<p>・家族からの要望、相談などいつでも対応出来る様な環境と関係づくりに努めている</p>		
17		<p>○初期対応の見極めと支援</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている</p>	<p>・本人と家族の求めている支援をうかがいながらこれから必要となるサービスについて説明を行い、思いに添った支援提供が行える様に努めている</p>		
18		<p>○本人と共に過ごし支え合う関係</p> <p>職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている</p>	<p>・日常生活において一人ひとりの出来る事を大切に、互いを思い協力し合いながら良好な関係を築ける様努めている</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
		<p>○本人と共に支え合う家族との関係</p> <p>職員は、家族を介護される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている</p>	<p>毎月の定期受診については御家族に御願いし又月末には本人の生活状況を報告する</p>		
	8	<p>○馴染みの人や場との関係継続の支援</p> <p>本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている</p>	<p>本人の誕生日にはお便りにて連絡。高齢の兄弟のご自宅に本人を訪問に連れて行く等して交流を保って頂いている</p>	<p>友人や知人の訪問があり、継続的な交流ができるように支援している。本人の希望で親戚宅に遊びに行ったり、自宅に帰ったり、家族と協力しながらできるだけ希望に添えるように支援している。</p>	
	21	<p>○利用者同士の関係の支援</p> <p>利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている</p>	<p>本人より弱い入居者の面倒を見る事により支え合いが出来ている。又個々のその日の心身状態を見ながらレクレーションにてコミュニケーションを図れる様行っている</p>		
		<p>○関係を断ち切らない取り組み</p> <p>サービス利用（契約）が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている</p>	<p>退居後も入院先、転居先に面会に出向き、退院後の相談を受けている</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
23	9	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	個々の思いをまずは傾聴する事を第一とし対応に努めています	利用者からは、日々のふれあいの中で思いや意向の把握に努めており、まず、傾聴することを基本としている。家族からは、面会時等で情報を得て、本人の意思を尊重した生活ができるように、職員が情報を共有し支援をしている。困難な場合は本人本位に支援している。	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活暦や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	朝のバイタルチェック時、入浴時、夕方の更衣時、又家族面会時の会話の中から把握した事を記録に残す様にする		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	目配り、気配りにて心身状態を把握し、日常業務の中にて職員間で把握し合っている		
26	10	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	担当職員を決め、不足物の補充又受診時の家族への連絡を行い、ミーティング等で気になる点について他職員の意見を聞いている	利用者や家族の意見を聞き、毎月のミーティングで話し合い、現状に即したプランを作成している。モニタリングは6ヶ月毎に実施している。介護計画の見直しは6ヶ月毎であるが、状態が変化した場合は随時見直している。	



自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	<ul style="list-style-type: none"> <li>・普段と違った行動、重要事項があった場合は記録の他日誌等他の記録誌にも記入</li> <li>・月1のミーティングに於いて実践後の結果報告や改善点など議論し、情報の共有を行っている</li> </ul>		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	<ul style="list-style-type: none"> <li>・面会時に状況の報告に合わせて要望を聞き出し、管理者への相談だけでなく可能な限り自分達で出来る範囲の行動を行っている</li> </ul>		
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らし方を支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	行政、自治会からの情報を取り入れ毎日の暮らしに少しでも変化を持って頂ける様にしている		
30	11	○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	<ul style="list-style-type: none"> <li>・無理のない範囲で受診は家族様に行って頂き、受診後の報告も細かく説明を頂いている</li> <li>・病院の変更等あった場合は初回は職員も同行し状況の説明に漏れがないよう努めている</li> </ul>	希望のかかりつけ医への受診の支援を行っている。看護師を配置し、必要に応じて家族の協力を得ながら通院の支援をしている。協力医療機関からの2週間に1回の往診や歯科の往診もあり、適切な医療が受けられるように支援している。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		<p>○看護職員との協働</p> <p>介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>日常生活の中で個々の利用者様の体調の変化に気づき速やかに報告がなされている</li> <li>スタッフ間でも情報交換が行われ、症状の悪化に早期に対応出来ている</li> </ul>		
32		<p>○入退院時の医療機関との協働</p> <p>利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。または、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>利用者様が入院した際にはサマリーを提出し、施設内での状況を報告している</li> <li>入院中もスタッフが面会を行い、利用者様が安心出来る様又入院中の状態把握に努めている</li> </ul>		
33	12	<p>○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援</p> <p>重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人や家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>重度化した場合、終末期については個々の御家族の希望等把握しておらず、今後話し合いの場をもち家族の意思を尊重していきたい</li> <li>医療関係者との連携も重要になってくる為、協力を得ながら支援していきたい</li> </ul>	<p>入居時に「重度化した場合の対応に係る指針」を説明し、同意書をもっている。看取りについても、本人や家族の意向を確認し事業所でできる事を説明している。主治医と連携し、できるだけ支援していけるように家族とも話し合い、取り組んでいる。</p>	
34		<p>○急変や事故発生時の備え</p> <p>利用者の急変や事故発生時に備えて、すべての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている</p>	<p>行政、自治会からの情報を取り入れ毎日の暮らしに少しでも変化を持って頂ける様にしている</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
35	13	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	<ul style="list-style-type: none"> <li>月に一度は入居者様参加の元で避難訓練を行っている</li> <li>防災設備の使い方や道具の配置などを各々が認識し、非常時の連絡方法なども各人が把握しやすい様掲示している</li> </ul>	災害時の訓練は、マニュアルを基に年2回実施し、入居者と共に避難訓練を行っている。防災設備の点検や消火器の使用訓練・緊急時の連絡網の訓練も実施している。非常用の食料・水も備蓄している。	
<b>IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援</b>					
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	<ul style="list-style-type: none"> <li>言葉づかいに気を付けて失礼のない態度で接するよう心掛けている</li> <li>排泄、入浴の際はプライバシーに配慮している</li> </ul>	人格の尊重とプライバシーの確保については、ミーティングや勉強会で話し合っ共有している。特に、利用者に対する言葉使いや入室時の声かけ、排泄や入浴時のプライバシーに配慮するなど、個人を尊重したケアを支援している。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	<ul style="list-style-type: none"> <li>利用者の様子に気を配り各々の場面での思い、希望を汲み取り、自己決定を支援する</li> </ul>		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	<ul style="list-style-type: none"> <li>その日の状況、気分に合わせて行動出来る様に細やかな気遣いをし、臨機応変に対応する</li> </ul>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるよう支援している	<ul style="list-style-type: none"> <li>・離床の際には髪を整えて上着など選んで頂く</li> <li>・入浴準備、更衣時には一緒に服を選んでも頂く</li> </ul>		
40	15	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	<ul style="list-style-type: none"> <li>・一人ひとりの体調に合わせた食事を配慮する(大きさ, 固さ)</li> <li>・季節感や好みに合わせた献立を工夫し、調理時にも声をかけて共に楽しんで準備している</li> </ul>	食材を一緒に買いに行ったり、家族や近所からの差し入れの野菜等を使って、利用者の好みを取り入れて調理を行っている。利用者もできる範囲で一緒に行き、職員と利用者が同じテーブルを囲み、お互いが顔を見て楽しく食事ができるように支援している。	
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	<ul style="list-style-type: none"> <li>・食べる姿勢や動作、嚥下状態、残した内容と量などチェックし献立に活かします。好き嫌いなどを観察、こまめに記録しておく</li> <li>・手にマヒがある場合でも自助具などを使用して自分で食べて頂いている</li> <li>・入居者の行動にも注意を払いながら様子を観察</li> <li>・入居者のコップ又その他のコップをあらかじめ計っておいて記録の際の目安にしている</li> <li>・水分はこまめに提供しチェックシートに記入</li> <li>・食事量の少ない時は補助食やカロリーの高い物を食べてもらいます</li> </ul>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
42		○口腔内の清潔保持  口の中の臭いや汚れが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	<ul style="list-style-type: none"> <li>・毎食後口腔ケア又週2回の入れ歯の消毒</li> <li>・自分で出来ない方は介助する</li> <li>・歯科(訪問)医に来て頂いている</li> </ul>		
43	16	○排泄の自立支援  排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている	排泄チェックシートや活動記録から排泄パターンを探りチームで取り組む。 経過を見乍適切なパット、PWCの利用を検討する	排泄チェック表を作成し、利用者一人ひとりの排泄パターンを把握している。適時に声かけを行い、トイレ誘導を行っている。トイレでの排泄の自立につながったり、パットの使用が少なくなった事例がある。できるだけおむつをしない、トイレでの排泄の自立に向けた支援を行っている。	
44		○便秘の予防と対応  便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	<ul style="list-style-type: none"> <li>・便秘薬又乳飲料又ヨーグルト、オリゴ糖</li> <li>・便秘や下痢を避ける為の食事や運動、服薬管理、排便パターンなどを行っている</li> </ul>		
45	17	○入浴を楽しむことができる支援  一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援している	一人ひとりの希望を取り入れ個々に応じた入浴支援を行っている	入浴は週に3回であるが、入浴する日や時間等も利用者の希望を尊重している。一人ひとりのペースで入浴を楽しめるように配慮しながら、入浴剤など使用したり、個別に入浴を楽しめる支援をしている。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
46		○安眠や休息の支援  一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	昼夜逆転なく夜間安心して休んで頂ける様日中はレクレーション等を実施、参加して頂いている。又その方の状態に合わせて午前、午後で休息時間を取りいれている		
47		○服薬支援  一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	一人ひとりの服薬情報を職員全員が把握出来る様ファイリングし変更等についても記録し、把握出来る様にしている		
48		○役割、楽しみごとの支援  張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活暦や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	一人ひとりの得意分野を見出し、一緒に行事を行う事で日々楽しくいきいきと過ごして頂ける様支援している		
49	18	○日常的な外出支援  一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるように支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している。	天候の良い日には散歩や外気浴を行っている 2ヶ月に一度は皆様一緒にドライブへ行く様にしている	日常的に散歩に出かけている。大きな木の下で、お茶を楽しんだり、日光浴をしたり、買物に一緒に行ったりして地域の人との交流をしながら外出を楽しんでいる。2ヶ月に一回は全員でドライブにも行き、歩行困難な利用者には、リフト車を利用して外出支援を行っている。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
50		<p>○お金の所持や使うことの支援</p> <p>職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・御家族よりお小遣いという形でお金をお預かりしホームにて保管している</li> <li>・一人ひとりの希望に応じて一緒に買い物に出掛けたり、不足している物を職員が購入している</li> </ul>		
51		<p>○電話や手紙の支援</p> <p>家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援している</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・希望があれば自由に連絡が取れるように支援しています</li> <li>・又、毎月ご家族へ近況等をお手紙にてお知らせしています</li> </ul>		
52	19	<p>○居心地のよい共用空間づくり</p> <p>共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱を招くような刺激（音、光、色、広さ、湿度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・利用者同士での混乱等を招かぬ様座席順を配慮したり、各空間への誘導のタイミングをずらし混雑しない様に対応を行っている</li> <li>・又、季節に合わせた花や、一緒に制作した壁画等の展示をしている</li> </ul>	<p>リビングは広く天窓があり、明るくゆったりしている。利用者の作品や写真等が展示されている。畳のスペースや中央にソファがあり、外にはウッドデッキを設置し、好きな場所でゆっくり過ごせる工夫がなされている。</p>	
53		<p>○共用空間における一人ひとりの居場所づくり</p> <p>共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・毎月制作しているカレンダーを展示したり、ご本人の好みに合わせ自由に家族の写真や人形等を飾られています</li> </ul>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
54	20	<p>○居心地よく過ごせる居室の配慮</p> <p>居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>自分の家族や友達の写真、思い出の物などを持参して頂く又布団、衣服も今までの物を使って頂いている又家族より面会に来られた時に写真などを撮り居室に飾っている</li> </ul>	<p>電動ベッドやタンス・洗面台は備え付けてある。部屋は明るく、布団や好みの衣類・身の回りのものを持ち込み、本人作成のカレンダーや家族の写真を飾り、居心地のよい居室となっている。</p>	
55		<p>○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり</p> <p>建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>入居者の病気や加齢による体力の低下など背景を理解しケアプランに設定された入居者自信の目標を支援して観察記録を行います</li> <li>入居者一人ひとりの様子とともに入居者どうしの関わりにも注意しています</li> <li>入居者が集中していた事や好まれる話題なども気づいたらどんどん記録し肯定的な意識をする事などで入居者の力を引き出す様にしています</li> </ul>		



## V アウトカム項目

56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目：23, 24, 25)	○	1 ほぼ全ての利用者の
			2 利用者の2/3くらいの
			3 利用者の1/3くらいの
			4 ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目：18, 38)	○	1 毎日ある
			2 数日に1回程度ある
			3 たまにある
			4 ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目：38)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿が見られている。 (参考項目：36, 37)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない

60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている。 (参考項目：49)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている。 (参考項目：30, 31)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により安心して暮らせている。 (参考項目：28)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています。 (参考項目：9, 10, 19)	○	1 ほぼ全ての家族と
			2 家族の2/3くらいと
			3 家族の1/3くらいと
			4 ほとんどできていない

64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目：9, 10, 19)	○	1 ほぼ毎日のように
			2 数日に1回程度ある
			3 たまに
			4 ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目：4)	○	1 大いに増えている
			2 少しずつ増えている
			3 あまり増えていない
			4 全くいない
66	職員は、生き活きと働いている。 (参考項目：11, 12)	○	1 ほぼ全ての職員が
			2 職員の2/3くらいが
			3 職員の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う。	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。	○	1 ほぼ全ての家族等が
			2 家族等の2/3くらいが
			3 家族等の1/3くらいが
			4 ほとんどいない